地方議会会議録コーパスを用いたオノマトペの分析

高丸圭一(宇都宮共和大学) 内田ゆず(北海学園大学) 乙武北斗(福岡大学) 木村泰知(小樽商科大学)

地方議会会議録コーパス



- ◆ 改まった場での話し言葉
- ▼ 以ように場でい品し言葉
 ◆ 地域別・年別にまとまっている
- ◆話し手と聞き手が同一地域に居住
- ◆ 話し手が明らか
- ◆整文が行われている

<u>本研究で用いるデータ</u> 2010年度の会議録 全国403自治体

19道県 322市 13特別区 41町 8村

約3億語 約1000万文

オノマトペ

- ◆擬音語および擬態語
- ◆音,雰囲気,程度,様子を効果的に伝える手段
- ◆日本語の話しことばでは多用される

『日本語オノマトペ辞典』(小野編 2007)

意味分類別索引に掲載された語 異なり語数 1,751語



研究の目的

近年,オノマトペの利活用を目指した取り組みが盛ん

小松, 中村(2012)「オノマトペの利活用:オノマトペ研究の分野横断連携を目指して」, 人工知能学会誌27(6), pp.653-654

現代の話しことばにおけるオノマトペの出現実態を知りたい

全国各地から集めた地方議会会議録コーパスを分析

- ・オノマトペの使用頻度
- ・オノマトペ使用の地域差

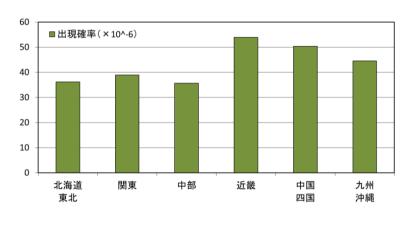
形態素解析 による抽出

人手による 確認作業

対応分析

地域別の出現確率(6地方区分)

全体として, 西日本>東日本 という傾向が見られる 西日本の中では 近畿>中国四国>九州沖縄



形態素解析によるオノマトペ抽出

形態素解析器: JUMAN ver.7.0

オノマトペ1,751語をユーザー形態素辞書に登録

982語(計186,416例)を抽出

人手によるオノマトペの確認

対象: 出現数が中程度の177語(18,545例)

共著者の同意の下,オノマトペ/非オノマトペを分類

	出現頻度	分類基準	オノマトペか?
GE 99	10,827	① オノマトペとして発言	オノマトペ
65.8 %	1,380	② 固有表現に利用	である
7	1,522	③ 方言	
	1,066	④ 固有表現の一部	
34.29	523	⑤ 同音異義語	オノマトペ
34.2/	238	⑥ オノマトペの一部	ではない
	69	⑦ 言い間違い・入力ミス	
	2,920	8 その他	

すべてが誤抽出のオノマトペ:22語(12.4%)

短いオノマトペを誤抽出しやすい

「ひっ」,「きっ」,「にっ」など

・方言に起因する誤抽出が多い

「かんから」、「はった」、「えへん」など・同音異義語に起因する誤抽出が多い

「なんなん」(垂んとす),「くすり」(薬)など

出現数上位のオノマトペ(4モーラのみ)

順位	オノマトペ	出現頻度
1	しっかり	77,464
2	どんどん	20,680
3	はっきり	19,382
4	だんだん	5,679
5	びっくり	2,910
6	もろもろ	2,372
7	そろそろ	2,021
8	ゆっくり	1,610
9	じっくり	1,541
10	わくわく	889

施策の推進(「しっかり」「どんどん」等) 明確な言及や適切な判断(「はっきり」等) などを表すオノマトペが高頻度で出現

(1) 「しっかり」の例

- ぜひ教科書の採択に沿って、やはり授業時間との関係が必ず出てくる、予測される問題でございますで、しっかりとした対応をお願いしておきたいと、こんなふうに思っております。 (東京都荒川区)
- よっぽど気をつけて、これから早期整備、全庁的な体制、<u>しっかり</u>つくっていただくようにお願いを
- その辺は**しっかり**と地域の人と合意を、暗黙の合意ちゅうたらおかしいけど、ある程度話をしちょっ

「どんどん」の例

- ですから、私は、地域力というものを高めるために、観光の予算をどんどん使っていただきたいと言ているわけでありまして、ぜひ、そういったこともお願いしたいなと思っております。(北海道)
- 何も、バリアフリーなどは、うちも<u>どんどん</u>やらんとあかんという立場で物言うてるわけです。(大阪 のより にかし により)
- ・・・この統合庁舎は大変大きなプロジェクトでありますから、いろんな角度から検討していただき、 委員会を<u>どんどん</u>開いてほしいと思います。 (沖縄県うるま市)

(3) 「はつさり」の例

- きるというものではないことは**はっきり**しているんですよ。 (北海道旭川市)
- ・・・地域の担い手をつくるのはいいけれども、じゃあ、行政は何をするのかというところも、<u>はっき</u>
- <u>り</u>させる必要があるということを感じました。 (茨城県守谷市)
- ●・・・やはり大切な税の消滅、免除ということをはっきりと説明するべきだと思いますが、市長の考え方をお聞きいたします。 (新潟県上越市)

対応分析による地域差の検討

どのオノマトペが出現確率の偏りに影響しているのか

- ・6地方区分ごとの出現頻度の対応分析
- ・対象:全国の出現頻度が50回以上の84語

第1軸

「九州沖縄」地方を分ける軸

(4)-b 「ぴしゃっ」の例(九州方言の語義)

- だから、審査会の権限とか、そういうものについて<u>ぴしゃっ</u>と明らかにして示す必要があるんじゃないかというふうに思うんですが、そこら辺についてどう考えますか。 (福岡県嘉麻市)
- そりゃ、職員は黒字が出ようが赤字が出ようが<u>ぴしゃっ</u>とボーナスも出ておる。(長崎県雲仙市)
 それから、そのときも出たんですけれども、資料の提出方法を、もうちょっと<u>ぴしゃっ</u>と定めた方が
- それから、そのときも出たんですけれども、資料の提出方法を、もうちょっとびしゃっと定めた方がいいのかなというような気はいたしました。(熊本県熊本市)
- ここら辺を<u>ぴしゃっ</u>と整備しなければいけないというふうに思っておりますし、住民から信頼される 自治体となるべく努力をしていかなければいけない・・・(宮崎県小林市)

п			/ / / / / / / / / / / / / / / / / /		- HH - H- > C		
l		北海道東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄
l	ぴしゃっ	0	3	4	7	8	90
l	ずっ	6	22	7	18	7	74
l							

表4 「九州沖縄」近傍に布置する2語の出現頻度

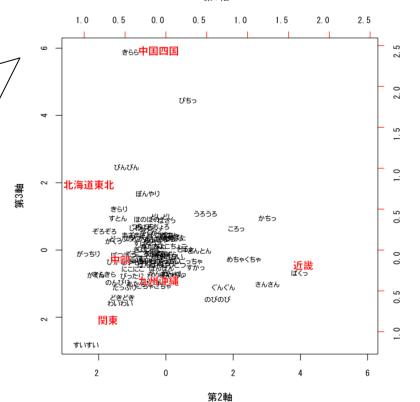
第3軸

「中国四国」地方を分ける軸

(6) 「きらら」の例

- ・・・業務用米としての「<u>きらら</u>397」のほか、「おぼろづき」「ふっくりんこ」といった良食味米に続きまして、「ゆめびりか」も新たに登場するということで・・・ (北海道)
- ・・・従来より山口大学医学部附属病院などとも連携を図りながら、消防防災へリ「きらら」を活用し、ドクターへリ的な運用による救急救命活動を展開しております。 (山口県宇部市)
 ・・・補助するグループホームはゆもと苑に併設されているきららの里で、この施設以外は全部火災
- 通報設備は設置されているとの説明がありました。(山口県長門市)
 県はきらら博に始まり、国民文化祭、そして国民体育大会と大型イベントを行う一方で、福祉政策の
- 費用をカットする態度は、決して許されるものではない。(山口県周南市)
- 山陽小野田市きららガラス未来館の指定管理者の指定について質疑を行います。(山口県山陽小野田市)

表6 「中国四国」近傍に布置する2語の出現頻度						
	北海道東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄
きらら	15	4	6	5	59	20
ぴちっ	0	11	1	16	33	5
				•		



第2軸

「近畿」地方を分ける軸

(5) 「ばくっ」の例(漠然とした大まかなさま)

- ・・・まずは、何ていうんですかね、議会としての<u>ばくっ</u>とした考え方なりを聞きたいというそうい
 「ファイス」
 「ファイス」
- った思いで委員会、特別委員会だと思っております。(愛知県尾張旭市)

 ◆ ・・・どういう課題が出てくるのかということについてはばくっとは聞きましたけれども、たらればという話がいっぱいあってなかなか定かになっていない・・・(滋賀県大津市)
- 平均値がどれぐらいちゅのがもしわかれば、ばくっとでも結構です。 (大阪府羽曳野市)
- こうなってくると、ばくっと私が考えるのは、逆にその責任体制が分散してしまって、だれがじゃあこのプロジェクトを回していくのか・・・ (兵庫県豊岡市)

表5 「近畿」近傍に布置するオノマトペ7語の出現頻度						
	北海道東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄
ばくっ	2	3	9	52	2	1
かちっ	4	10	2	50	14	1
さんさん	2	9	7	60	2	19
めちゃくちゃ	1	9	13	42	6	4
ころっ	9	16	5	57	16	9
ぐんぐん	2	11	11	26	1	1
のびのび	5	102	13	132	12	20

まとめ

議会会議録に多く見られるオノマトペ

・施策の推進,明確な言及や適切な判断を促す語

形態素解析によるオノマトペ抽出における誤抽出

- 短いオノマトペに多い
- ・方言を含む文、同音異義語の存在等に起因

オノマトペの出現傾向(地域差)

•西日本>東日本

対応分析による地域差の検討

・いくつかのオノマトペに顕著な偏りが存在

今後の課題

- ・オノマトペ抽出手法の検討
- ・辞書にないオノマトペ(方言・新しい表現)の検出
- ・語義の分類、語義の地域差の分析